

長野大学 大学院 共創情報科学研究科
共創情報科学専攻(修士課程)(仮称)

標準修業年限:2年／入学定員:5名(予定)



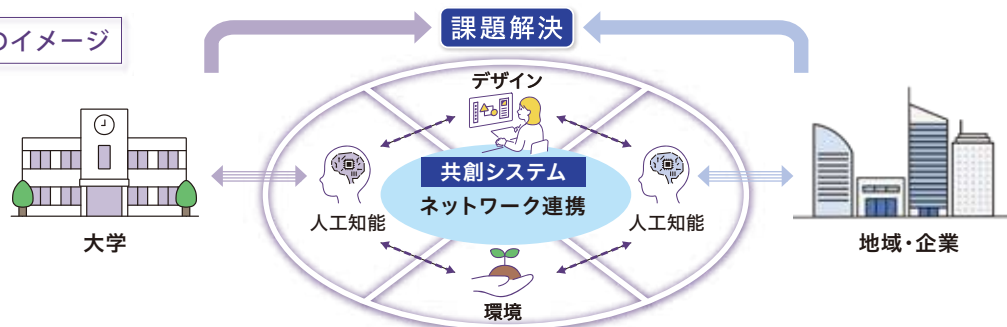
新学部・新研究科の設置に向けて、中核研究拠点となる新しい校舎を建設しています。

新校舎のイメージ

設置の理念

人工知能(AI)やIoTを始めとする情報通信技術の発展により社会構造の変革が急速に進行する一方、必要な技術の創造と発展を担う理系人材の不足が顕在化しています。本学はこのような社会背景に対応するため、高度情報技術により地域の課題解決に貢献する大学院「共創情報科学研究科(修士課程)」を設置します。下図に示す「地域共創情報基盤」を活用し、課題解決を目指します。

地域共創情報基盤のイメージ



養成する人材像

研究科の理念に基づき、多様なものの見方・考え方によりデザイン思考で対象に取り組み、AIを始めとする情報技術を駆使して、実社会における課題解決と価値創造に貢献できる人材を養成します。

求める人材像(アドミッションポリシー)

養成する人材の基礎となる、次のような資質を持った多様な人材を幅広く対象とします。

- ① データ分析・活用を行うために必要となる情報科学・数理科学の基礎知識
- ② 世界や身近で起きている社会問題に関心を持ち、課題発見・解決しようとする能動的な研究姿勢
- ③ 主体性を持って多様な人々とチームとして協働できる協調性、自主性、コミュニケーション能力

想定される進路

これからの社会において必須の素養となる情報技術を身につけることができるため、幅広い領域で情報科学専門家としての進路が想定されます。

【例】研究開発／教育／システムエンジニア／デザインエンジニア／環境コンサルティング／マーケティング／事業企画／スタートアップなど

設置構想中であるため記載内容を変更する可能性があります。

学びの特徴

最新の情報技術と共創的思考を応用し、社会で発生する多様な複雑な問題に対して、課題のブレークダウンと情報技術による解決の方法を学ぶことができます。幅広い知識、コミュニケーション力、調整力、技術者倫理などの能力を身につけることができます。

カリキュラム

本課程は2年間で修士論文の研究をまとめることを目的とし、講義形式で学ぶ「共創情報専門科目」、輪講・グループ学習を中心とする「特別演習科目」、地域と連携して課題発見・課題解決・評価のサイクルを経験することができる「特別実験科目」を自由に選択できるように組まれています。研究分野によらず、情報科学の知識と解決手法を2年間で無理なく身につけることができるように工夫されています。

入学	1年次	2年次	修了
	共創情報専門科目群（選択）		
	特別演習科目群		
	特別実験科目群		
	修士論文		

修了要件

所定の単位（計30単位以上）を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格することを要件とします。

社会人学生に対する配慮

社会人学生が無理なく履修できるよう、状況に応じて柔軟に対応します。（オンデマンド授業、長期履修制度など）

本学共創情報科学研究科（仮称）と類似する近隣の大学院・研究科・専攻（修士課程）

所在地	区分	大学名	研究科	専攻
長野県	公立	長野大学大学院	共創情報科学研究科（仮称）	共創情報科学専攻 修士課程（仮称）
富山県	公立	富山県立大学大学院	工学研究科	電子・情報工学専攻 博士前期課程
長野県	国立	信州大学大学院	総合理工学研究科	工学専攻 修士課程
長野県	公立	公立諏訪東京理科大学大学院	工学・マネジメント研究科	工学・マネジメント専攻 修士課程

注）各大学情報については、令和6年12月18日時点の公式WEBサイトより転載。

研究分野と研究内容例

知能分野

AIを中心とするICTの仕組みと応用方法を学ぶ

人工知能研究 ▶ 機械学習、ディープラーニング、生成AIなど、最先端の人工知能技術を活用し、次世代の知能システムの創出と持続可能な未来の実現に貢献する。

サイバーフィジカルシステム ▶ 共創情報科学のインフラとして、情報通信基盤の上で共創型AIの研究開発を行い、様々なステークホルダーが複合する実世界を対象とした課題解決方法に取り組む。

デザイン分野

人間中心発想でモノやコトを創り出し提案する方法を学ぶ

UI/UXデザイン ▶ 人間中心デザイン（HCD）や人間工学のプロセス、手法を軸に、UX（よりよいユーザー体験）のためのサービス、UI（ユーザーインターフェイス／インタラクション）のデザイン、そして社会実装に取り組む。

デザインマネジメント ▶ デザインを新たな価値創造の仕組みとして捉え、製品・サービスデザインのレベルからイノベーションへの応用、ビジネスモデルのデザイン、企業や社会との関わり合いのデザインまで広く研究し、地域と連携して実践的に進める。

環境分野

自然環境の保全と経済成長を情報技術により両立させる方法を学ぶ

環境共生 ▶ 農業生産・工業開発などの人間活動と生物多様性保全の両立への貢献を目標とし、群集生態学的アプローチなどで人口減少社会における生態系の最適保全・管理戦略を考える。

野生動物管理 ▶ 農林業被害や森林伐採など人と野生動物の間で生じる問題を対象に、高度なセンシング、分布モデリング、長期間影響評価などを駆使した野生動物の生態解明を通して、共存形態を模索する。

学生納付金

入学金	上田地域定住自立圏域内者	282,000円
	上田地域定住自立圏域外者	423,000円
授業料（年間）		580,000円
諸経費（年間）		60,000円
初年度納入金	上田地域定住自立圏域内者	922,000円
	上田地域定住自立圏域外者	1,063,000円

注1）本学を卒業後、引き続き本研究科に進学する場合の入学金は全額免除となります。

注2）上田地域定住自立圏とは、上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町、立科町、嬬恋村を指します。



〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1
tel.0268-39-0020（教育グループ 広報入試担当）

www.nagano.ac.jp



長野大学大学院共創情報科学研究科（仮称）の設置については、設置構想中であるため、本リーフレットの内容は、今後変更となることがあります。

